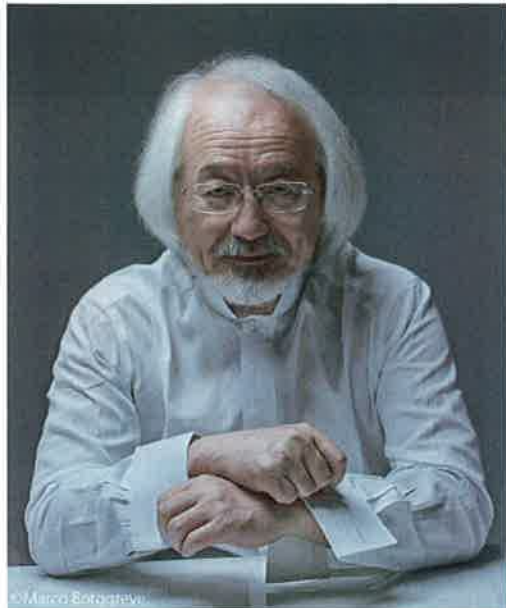


神戸松蔭チャペルコンサート  
2013年度 オルガン奉獻30周年記念



【音楽監督】鈴木雅明

【会場】神戸松蔭女子学院大学 チャペル

【主催】神戸松蔭女子学院大学、バッハ・コレギウム・ジャパン

2013年度は、松蔭のチャペルにとって、またバッハ・コレギウム・ジャパンにとっても、記念すべき年です。今年がガルニエによって完成されたオルガンの奉獻30周年にあたるのです。このオルガン建造を中心にチャペルの音響と建築について徹底的に研究がなされ、チャペルが見事に完成したからこそ、チャペルコンサートが始まったのでした。

このチャペルでの教会カンタータの演奏は、J.S.バッハ生誕300周年の1985年から始まりました。その5年後には、当時の小さなアンサンブルが「バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)」として生まれ変わりました。BCJの教会カンタータの全曲録音は、今年、18年を経て完結しましたが、私たちの歴史は、まさしくこのチャペルと、このオルガンの上に積み上げられてきたのです。J.S.バッハのカンタータ演奏は、決して終わることはありません。今年は再び初心に帰り、オルガンとカンタータを中心に、そして新たな切り口で、連続演奏を、再び始めることにいたしましょう。

まず、2013年度の最初は、初心に戻るといって、最初期の復活祭カンタータをお届けいたします。カンタータ第4番「キリストは、死の縄目につながれたり」は、私たちのCD第1巻の冒頭に位置するものです。しかし今回は、それをバッハの先輩にあたるヨハン・パッヘルベルの同名のカンタータと共に演奏いたします。バッハは、恐らくこの作品を知っていたことでしょう。そこには、多くの類似点が見いだされ、バッハが如何に忠実に伝統を受け継いでいるかがわかります。

さて、J.S.バッハは1730年代に、ライブツィヒのために書いたカンタータのいくつかを、象徴的な意味を込めて、ラテン語の小ミサ曲に変身させました。恐らく、教派を超えて用いられていたラテン語にすることで、カンタータにより普遍的な性格を持たせたいと願っていたに違いありません。そのような4つの小ミサ曲を、9月と翌年2月の2回に分けて聴いていただきます。教会カンタータに精通された方には、次々と現れるカンタータ楽章のパロディに、思わず「あ、これは〇〇番だ」とクイズのような楽しみもあるに違いありません。

さて、オルガンのシリーズとしては、わずか3回のコンサートではありますが、ガルニエオルガンの魅力を色々な角度からたっぷり味わって頂きたいと思います。30年を経た世代交代を軸に、鈴木雅明、鈴木優人、そして即興演奏の大家として名高く、同時に鈴木優人の師匠でもあるヨス・ファン・デア・コーイを迎えて、フランス、オランダ、北ドイツのレパートリーをJ.S.バッハの音楽と並べて、このオルガンの透明で芳醇な響きをお楽しみ下さい。

2013年、さあ、BCJと共に新たな門出を。

バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督  
鈴木 雅明

<p>#225</p> <p>J.パッヘルベル J.S.バッハ</p>	<p>教会カンタータ・シリーズ Vol.65 <b>復活祭の初期カンタータ集</b></p> <p>《キリストは死の縄目につながれたり》 《キリストは死の縄目につながれたり》 BWV 4 《天は笑い、地は歓呼す》 BWV 31 《歌よ、響け》 BWV 172</p>	<p>5月26日(日) 3:00 PM [3月8日(金) 一般発売]</p> <p>ハナ・ブラシコヴァ (ソプラノ) 青木 洋也 (カウンターテナー) 櫻田亮 (テノール) ドミニク・ヴェルナー (バス)</p>	   
<p>#227</p> <p>J.S.バッハ</p>	<p>教会カンタータ・シリーズ Vol.66 <b>ルター派ミサ曲 ①</b></p> <p>ミサ曲 ト短調 BWV 235, ト長調 BWV 236 サンクトゥス ト長調 BWV 240, ホ長調 BWV 241 クリステ・エレイソン ト短調 BWV 242</p>	<p>9月21日(土) 3:00 PM [6月14日(金) 一般発売]</p> <p>ハナ・ブラシコヴァ (ソプラノ) ロビン・ブレイズ (カウンターテナー) ゲルト・テュルク (テノール) ペーター・コーイ (バス)</p>	   
<p>#229</p> <p>J.S.バッハ</p>	<p>教会カンタータ・シリーズ Vol.67 <b>ルター派ミサ曲 ②</b></p> <p>ミサ曲 ヘ長調 BWV 233, イ長調 BWV 234 サンクトゥス ハ長調 BWV 237, 二長調 BWV 238</p>	<p>2014年 2月22日(土) 3:00 PM [11月22日(金) 一般発売]</p> <p>ハナ・ブラシコヴァ (ソプラノ) ロビン・ブレイズ (カウンターテナー) ペーター・コーイ (バス)</p>	   

※出演者、曲目はやむをえない事情により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【チケット】

BCJ定期[3公演]セット券… ¥21,500 ※3/8(金)～ 新規会員・募集開始  
+「ゼロビート・シリーズ」3公演とのチャペルコンサート年間[6公演]セット券… ¥34,500  
1回券… ¥8,000円(ペア前売 ¥15,000)

立見席 各 ¥4,000(※※限定30席)

※※本年度より「立見席券」は一般発売日以降、BCJ事務局/松蔭キリスト教センターでの事前受付に変更となります。(会場での発売は、当日残席がある場合に限りです)

【お問い合わせ】

神戸松蔭女子学院大学 キリスト教センター  
※宗教センターは2013年4月より「キリスト教センター」に改称いたします  
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1  
TEL:078-882-6124 FAX:078-882-6136  
BCJ事務局  
TEL:03-3226-5333 info@bach.co.jp

神戸松蔭チャペルコンサート  
ゼロビートシリーズ  
オルガン奉獻30周年記念

【音楽監督】鈴木雅明  
【会場】神戸松蔭女子学院大学 チャペル



#224	鈴木雅明 オルガン・リサイタル ～グリニーとJ.S.バッハ～	4月13日(土) 3:00 PM
	<p>N.de グリニー 「ミサ曲」より 《キリエ》《グロリア》《オフェルトワール》</p> <p>J.S.バッハ 十字架と復活にまつわるコラール集 《おお汚れなき神の小羊》 BWV 618 《キリスト、我らを浄めたもう》 BWV 620 《キリストは、死の縄目につながれたり》 BWV 625 「オルガン小曲集」より 《おお汚れなき神の小羊》 BWV 656 「ライブツィヒの17のコラール」より トッカータ、アダージョとフーガ 八長調 BWV 564</p>	
#226	ヨス・ファン・デア・コーイ オルガン・リサイタル	6月15日(土) 3:00 PM
	<p>J.d. ルブリン オルガン・タブラチュアによる5つの舞曲</p> <p>J.P. スウェーリンク エコー・ファンタジー イ調</p> <p>A.v. ノールト 「詩篇とファンタジアの楽譜集」より 《詩篇第24編》</p> <p>J.S. バッハ トリオ・ソナタ 第6番 ト長調 BWV 530</p> <p>F. ケーブラン 「修道院のためのミサ」より 《グラン・ジュによる奉獻唱》</p> <p>C-B. バルバートル ノエル 《ヨセフはよき妻をめとりぬ》</p> <p>L-C. ダカン ノエル第10番 《グラン・ジュとデュオのノエル》</p> <p>W.A. モーツァルト アダージョ 八長調 KV 356 (617a) ライブツィヒ・ジューグ ト長調 KV 574</p> <p>即興演奏</p>	[4月12日(金) 1回券発売] 
#228	鈴木優人 オルガン・リサイタル 「北ドイツオルガン名曲集」	10月26日(土) 4:00 PM
	<p>N. ブルーンズ プレリユード 二短調(原曲ホ短調)</p> <p>G. ベーム 《天にまします我らの父よ》</p> <p>J.P. スウェーリンク 《我が青春は過ぎ去りぬ》</p> <p>J.S. バッハ プレリユードとフーガ ト長調 BWV 541</p> <p>D. ブクステフーデ トッカータ 二調 BuxWV 155 《天にまします我らの父よ》 二調 BuxWV 207 《テ・デウム》 BuxWV 218 プレリユード 八長調 BuxWV 157 パッサカリア 二短調 BuxWV 161</p> <p>即興演奏</p>	[7月26日(金) 1回券発売] 



【チケット】

3公演セット券 ————— ¥13,500  
1回券 一般自由 ————— 各 ¥5,000  
学生券(当日限定20名、要学生証) ————— 各 ¥2,500

【お問い合わせ】

神戸松蔭女子学院大学 キリスト教センター ※宗教センターは2013年4月より「キリスト教センター」に改称いたします  
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1  
TEL:078-882-6124 FAX:078-882-6136 <http://ksw.shoin.ac.jp/chapel/>  
バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)事務局 TEL:03-3226-5333 [info@bach.co.jp](mailto:info@bach.co.jp)